

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
数学Ⅰ	前期	2	1 年次	選択	12	3	6
	後期	2			12	3	6
使用教科書	東京書籍 704 新数学Ⅰ（705 新数学Ⅰ 解答編）						
科目の概要	中学校で学んだ数学の基礎的な内容を踏まえて、数と式、方程式・不等式の解き方、2 次関数、三角比、集合と論証、データの分析を学び、日常生活において数学的な見方や考え方ができるような能力を身につけることを目標にして学習します。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導	添削課題
	・ 整数の計算 (P4～P11)		○数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 ・ 整数の加法と減法、乗法と除法の計算、 公倍数、公約数、素因数分解			前期 1・2	No.1
	・ 少数・分数の計算 ・ 計算の利用 (P12～P23)		○数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 ・ 小数、分数の計算、計算のくふう、割合、速さ 単位、四捨五入、速さ			前期 3・4	No.2
	・ 正負の数の計算 (P24～P29)		○数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 ・ 正負の数のたし算、ひき算、かけ算、累乗、わり算 正負の数の利用、絶対値、数の大小			前期 5・6	No.3
	・ 文字と式 (P32～P47)		○単項式や多項式の計算を確認する。展開公式や因数分解 公式を利用する。			前期 7・8	No.4
	・ 実数 (P48～P57)		○平方根を学び、根号を含む式の計算の方法を確認する。 また、数の分類を理解する。			前期 9・10	No.5
	・ 方程式と不等式 (P58～P71)		○1次方程式や1次不等式の性質を学び、方程式や不等式を 解くことができるようになる。また、2次方程式の解き方が 分かり、解の公式を使うことができる。			前期 11・12	No.6
	・ 2次関数とそのグラフ (P74～P91)		○関数について学び、1次関数、2次関数のグラフの特徴 がわかり、グラフがかけられる。また、 $y = ax^2 + bx + c$ の変 形ができ、グラフがかけられる。			後期 1・2	No.7
	・ 2次関数の値の変化 (P92～P101)		○2次関数の最大値・最小値が求められるようになる。ま た、2次関数と2次方程式、2次不等式との関連が分か り、2次方程式、2次不等式が解けるようになる。			後期 3・4	No.8
	・ 鋭角の三角比 (P104～P116)		○三角比を知り、値が求められる。また、三角比を利用し て、いろいろな長さや高さが求められる。			後期 5・6	No.9
	・ 三角比の応用 (P117～P127)		○三角比を利用して、三角形の面積や辺、角の大きさを求 めることができる。また、鈍角の三角比を理解し、利用す ることができる。			後期 7・8	No.10
	・ データの分析 (P130～P147)		○データにもとづいて問題を解決するときの分析方法を学 ぶ。また、代表値や分散が求められるようになり、データ の比較ができる。			後期 9・10	No.11
	・ 集合と論証 (P150～P160)		○集合を理解し、補集合や共通部分、和集合を求めること ができる。また、命題と集合を理解し、必要条件や十分条 件かを判断することができる。			後期 11・12	No.12
評価 方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 添削課題（レポート） ・ 試験（テスト）						
単位 修得	・ 面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・ 添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・ 1年次で4単位修得します。						